

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
専門学校 穴吹ビューティカレッジ		平成14年3月14日		後藤 良二		〒760-0020 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-5500																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日		穴吹 忠嗣		〒760-0020 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266																							
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																						
衛生	衛生専門課程	美容学科				平成16年文部科学省告示第3号	—																						
学科の目的	美容師国家試験合格を目標とし、高い技術力、感性、人間性を高め社会に通ずる人材を育成し、ヘアスペシャリスト専攻、ブライダルスタイリスト専攻により、より専門的な知識と技術を持ったスペシャリストを育成する																												
認定年月日	平成26年3月31日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
2年	昼間	2016時間	570時間	1350時間	96時間	時間	0 時間																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)		専任教員数	兼任教員数	総教員数																							
70人	69人	0人		3人	10人	13人																							
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 シラバスによる																							
長期休み	■学年始: 学則に従う ■夏季: // ■冬季: // ■学年末: //				卒業・進級条件	履修科目の成績がC以上であること 成績はA～Dの4段階評価でA,B,Cが合格、Dが不合格																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 必要に応じ、学生とガイダンス及び補講等を実施する				課外活動	■課外活動の種類 近隣清掃等のボランティア活動 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) 美容サロン 美容業界				主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)																							
	■就職指導内容 学生との個人面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う					<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td>31人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②	31人	31人												
	資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																									
	美容師国家試験	②	31人	31人																									
■卒業生数 31 人 ■就職希望者数 31 人 ■就職者数 31 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																											
■その他 ・進学者数: 0人		■自由記述欄																											
(令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)																													
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 2% 令和2年4月1日時点において、在学者67名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者64名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 問題発見のためのアンケート実施と学生本人・保護者を交えたがんだンス実施																												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 穴吹カレッジ特待生制度、AO入学 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																												
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																												
当該学科のホームページURL	URL: http://www.anabuki-college.net/auk/																												

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

美容師として働くために「美容」「メイク」「ネイル」「着付け」等に関する基礎知識から実践的な技術を身につけた人材を養成するのが学科の特色です。また、お客様に対する接遇等の現場対応力を身につけるためのカリキュラムを実施します。さらに、学内で学んだ知識・技術をもとに学生の就職希望に応じた施設で実習を行う。実習の体験を通して学生は学内に

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会 理事	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
高畑 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社H&M BEAUTY 執行役員	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 麴町リバース 副院長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
石川 勲	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和3年8月1日～令和4年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (10月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年10月21日

第2回 令和4年3月(予定)

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

接客(コミュニケーション)のに関する指摘があったため、授業内で実施予定。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内で身に付けた知識、技術が美容サロン等と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする。実務実習(インターンシップ)を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、サロン担当者に評価をお願いする。実習終了時にはサロン担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
実務実習	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する。	㈱のむら、(有)美容室さかもと、Hair Make GIGI 宇多津店、他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 教員は教職員研修規程に従い、美容業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけではなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

美容師実技試験委員指導者研修会

- ・日時 令和3年11月8日
- ・目的 美容師実技試験委員に対し、審査マニュアルを正確に修得させることにより、各都道府県で実施する事前研修会で正確に伝達を図る
- ・主催 理容師美容師試験研修センター

② 指導力の修得・向上のための研修等

「主体的・対話的で深い学び」を実現する Google 式10X授業デザイン研修

- ・日時 令和3年8月19日(木)
- ・内容 Google Classroom を使用した模擬授業・体験型のオンラインセミナー
- ・講師 Google 認定トレーナー/イー・アール株式会社代表取締役 平塚知真子

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

マツエク検定に関する研修を実施予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

ルーブリック研修

- ・日時 令和2年8月19日(水)
- ・内容 ルーブリック評価についての基礎知識、評価方法
- ・講師 村上悦雄

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2) 学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができていないか、等
(4) 学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等

(5) 学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6) 教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7) 学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは
(8) 財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9) 法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	業界団体委員
河端 公美子	河端着付教室	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
高畑 育代	有限会社カールズジャパン	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
小野 和則	株式会社H&M BEAUTY	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
中村 博子	株式会社 麴町リバーズ	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	元高校関係委員
北野 奈美恵		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	保護者代表委員
矢野 理菜		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	卒業生代表委員
佐立 明	香川県立津田高等学校	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員
西本 泰三	英明高等学校	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/auk/>

公表時期:令和3年11月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2) 各学科等の教育	定員数、入学、卒業生数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3) 教職員	教職員の概要、等
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6) 学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8) 学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9) 学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/auk/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			衛生管理	◎国家試験筆記科目【必須科目】 感染症に対する正しい知識や、消毒方法や消毒薬の調整方法など衛生管理技術を学習する	1 通	40		○			○	○			
○			保健	◎国家試験筆記科目【必須科目】 皮膚や毛髪についての理解を深め、美容業務に必要な知識を身につけ、美容施術に活かす	1 通	40		○			○		○		
○			香粧品化学	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容師の業務を行う上で必要な香粧品の基礎知識について学習する	1 通	30		○			○		○		
○			文化論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 ファッション、メイクを含めたヘアの歴史を知り知識の幅を広げる	1 通	30		○			○		○		
○			美容技術理論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容技術を習得するために、その裏付けとしての基礎理論を学習する	1 通	60		○			○		○		
○			美容実習	◎国家試験実技科目【必須科目】 美容師国家試験課題を理解し、技術を習得する	1 通	420		○			○		○		
○			サロン実務	【選択必須科目】 美容技術の基本手技の技術を学習し、サロンワークに対応できる技術を習得する	1 通	60		○			○		○		
○			メイク	【選択必須科目】 スキンケア・メイクアップ技術を習得し、UTOWAメイクアップ技術検定の合格を目指す	1 通	60		○			○		○		
○			ネイル	【選択必須科目】 ネイルに関する専門的な知識を学び、ネイリスト検定3級の技術を習得する	1 通	60		○			○		○		
	○		着付け	【選択必須科目】 着付けに関する専門的な知識や作法を学び、山野流着装初伝・中伝の資格取得を目指す	1 通	60		○			○		○		
	○		ヘアアレンジ	【選択必須科目】 ヘアアレンジの基礎技術を学習し、オリジナルスタイルを作成し、実践的な技術を学習する	1 通	60		○			○		○		

※次のページへ続く

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会人基礎講座	【選択必須科目】 社会人としてのマナーや対人技能、一般常識を養い、サービス接客検定3級の合格を目指す	1前	30		○			○		○		
○			実務実習	【選択必須科目】 美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する	1後	48				○		○	○		○
○			パーソナルカラー	【選択必須科目】 美容業界における色彩の役割を理解し、パーソナルカラー検定モジュール1の合格を目指す	1通	30		○			○			○	
	○		選択(トップスタイリスト)	【選択必須科目】 イメージ通りのスタイル構成、手順、テクニックを身につけ、外部コンテストで入賞を目指す	1後	50			○		○			○	
	○		選択(アイデザイナー)	【選択必須科目】 まつ毛エクステに関する正しい知識を学習し、まつ毛エクステ検定試験合格を目指す	1後	50			○		○		○		
合計					14科目		1018単位時間()								単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
・必修及び選択必修全科目の成績がC評価以上であること	1学年の学期区分	2期
・必修及び選択必修全科目の出席率が85%以上であること	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			関係法規・制度	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容業における関係法規・制度の重要性と関わりについて知識と理解を深める	2 通	30		○			○			○	
○			衛生管理	◎国家試験筆記科目【必須科目】 感染症に対する正しい知識や、消毒方法や消毒薬の調整方法など衛生管理技術を学習する	2 通	50		○			○			○	
○			保健	◎国家試験筆記科目【必須科目】 皮膚や毛髪についての理解を深め、美容業務に必要な知識を身につけ、美容施術に活かす	2 通	50		○			○			○	
○			香粧品化学	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容師の業務を行う上で必要な香粧品の基礎知識について学習する	2 通	30		○			○			○	
○			文化論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 ファッション、メイクを含めたヘアの歴史を知り知識の幅を広げる	2 通	30		○			○			○	
○			運営管理	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容業における接客、経営戦略、マーケティング、経営管理の重要性と関わりを理解する	2 通	30		○			○			○	
○			美容技術理論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容技術を習得するために、その裏付けとしての基礎理論を学習する	2 通	90		○			○			○	
○			美容実習	◎国家試験実技科目【必須科目】 美容師国家試験課題を理解し、技術を習得する	2 通	480		○			○			○	
○			サロン実務	【選択必須科目】 美容技術の基本手技の技術を学習し、サロンワークに対応できる技術を習得する	2 前	30		○			○			○	
○			実務実習	【選択必須科目】 美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する	2 前	48				○		○		○	○
	○		選択(トップスタイリスト)	【選択必須科目】 イメージ通りのスタイル構成、手順、テクニックを身につけ、外部コンテストで入賞を目指す	2 前	40		○			○			○	

※次のページへ続く

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			選択(アイデ ザイナー)	【選択必須科目】 まつ毛エクステに関する正しい知識を学習し、まつ毛エクステ検定試験合格を目指す	2 前	40		○			○				
○			専攻(ヘアメイク)	【選択必須科目】 ヘアメイクの基礎、スタイル構成、手順、テクニック、カメラワークなどを身につけ、外部コンテストで入賞を目指す	2 通	90		○			○				
○			専攻(ブライダル)	【選択必須科目】 ブライダルに関する技術を学び、創造力や応用力を養い、社会性や協調性を身につける	2 通	90		○			○				
合計					12科目		998単位時間()							単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
・必修及び選択必修全科目の成績がC評価以上であること ・必修及び選択必修全科目の出席率が85%以上であること (留意事項)	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																					
専門学校 穴吹ビューティカレッジ		平成14年3月14日		後藤 良二		〒760-0020 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-5500																					
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																					
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日		穴吹 忠嗣		〒760-0020 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266																					
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
文化・教養	文化教養専門課程	ビューティコーディネーター学科		平成16年文部科学省告示第3号	—																						
学科の目的	メイク、ネイルを各専攻によって学ぶことで、より専門的な知識と技術を持ったスペシャリストを育成し、エステ、着付け、色彩、アロマセラピー等の学習を加え、トータルで美容を学ぶことによりビューティアドバイザー、メイクアップアーティスト、ネイリスト、エステティシャン等、幅広い分野で活躍できる人材を育成する。																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
	2年 昼間							1708時間	458時間	1170時間	80時間	時間	0														
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
30人		37人	0人	2人	6人	8人																					
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 シラバスによる																						
長期休み	■学年始: 学則に従う ■夏季: // ■冬季: // ■学年末: //			卒業・進級条件	履修科目の成績がC以上であること 成績はA～Dの4段階評価でA,B,Cが合格、Dが不合格																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 必要に応じ、学生とガイダンス及び補講等を実施する			課外活動	■課外活動の種類 近隣清掃等のボランティア活動 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) メイク・ネイルサロン 美容業界			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に係る令和3年5月1日時点の情報)																						
	■就職指導内容 学生との個人面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケサランパサラン メイクアップ検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>JNAジェルネイル技能検定</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ケサランパサラン メイクアップ検定	③	12人	12人	JNAジェルネイル技能検定	③	11人	11人								
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																						
	ケサランパサラン メイクアップ検定	③	12人		12人																						
JNAジェルネイル技能検定	③	11人	11人																								
■卒業生数 11 人 ■就職希望者数 11 人 ■就職者数 11 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																								
■その他 ・進学者数: 0人 (令和 元 年度卒業者に係る 令和2年5月1日 時点の情報)			■自由記述欄																								
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和2年4月1日時点において、在学者31名(平成2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者29名(令和3年3月31日卒業者を含む)		■中退率 6.4%		■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 問題発見のためのアンケート実施と学生本人・保護者を交えたがんダンス実施																						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 穴吹カレッジ特待生制度、AO入学 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	URL・http://www.anabuki-college.net/auk/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

メイクアップアーティスト、ネイリストとして働けるように「メイク」、「ネイル」に関する基礎知識から実践的な技術を身につけた人材を養成するのが学科の特色です。また、お客様に対する接客等の現場対応力を身につけるためのカリキュラムを実施します。さらに、学内で学んだ知識や技術をもとに、学生の就職希望に応じた施設で実習を行う。実習の体験を通して学生は学内における自らの学びを確認し評価するとともに、実習で得た課題を実習後の学びに繋げていく。また、現場で働くメイクアップアーティスト、ネイリストの姿を通して職業人としての自らの将来像を具体化させるとともに、変化する社会に対応して自ら学び続ける姿勢を養う職業教育の機会とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会 理事	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
高畑 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社H&M BEAUTY 執行役員	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 麴町リバース 副院長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
石川 勲	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和3年8月1日～令和4年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年10月21日

第2回 令和4年3月(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

令和2年度の委員会で、実務実習は1件のみを見て決めるのではなく複数の企業やサロンを体験して決めるようにしてほしいとの意見あり。今年度は授業としての実習は学生1名につき1件だが、就職活動の一環として学生の希望があった場合、授業外での1日インターンシップを積極的に取り入れ就職内定にも繋げた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内で身に付けた知識、技術が美容サロン等と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする。実務実習(インターンシップ)を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、サロン担当者に評価をお願いする。実習終了時にはサロン担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等

実務実習	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する。	(株)高松三越、(有)カールズジャパン、有限会社センコヤ本店、他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 教員は教職員研修規程に従い、ビューティ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけではなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

森ゼミ教員研修

- ・日程: 令和3年3月18日(木)～19日(金)
- ・主催: 穴吹教育総合研究所
- ・内容: 4月からの社会人基礎講座での教員指導書の説明
- ・講師: 森 吉弘

② 指導力の修得・向上のための研修等

ルーブリック研修

- ・日時: 令和2年8月19日(水)
- ・内容: ルーブリック評価についての基礎知識、評価方法
- ・講師: 村上悦雄

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

未定

② 指導力の修得・向上のための研修等

「主体的・対話的で深い学び」を実現する Google 式10X授業デザイン研修

- ・日時: 令和3年8月19日(木)
- ・内容: Google Classroom を使用した模擬授業・体験型のオンラインセミナー
- ・講師: Google 認定トレーナー/イーシーエル研株式会社代表取締役 平塚知真子

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、目的、育人材像が定められているか、等
(2) 学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等

(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱い
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	業界団体委員
河端 公美子	河端着付教室	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
高畑 育代	有限会社カールズジャパン	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
小野 和則	株式会社H&M BEAUTY	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
中村 博子	株式会社 麴町リバーズ	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	元高校関係委員
北野 奈美恵		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	保護者代表委員
矢野 理菜		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	卒業生代表委員
佐立 明	香川県立津田高等学校	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員
西本 泰三	英明高等学校	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/auk/>

公表時期:令和3年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業生数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/auk/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ビューティコーディネーター学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			メイク実習Ⅰ	・スキンケア、メイクアップ技術の基本を学ぶ	1 通	120			○		○		○		
○			ネイル実習Ⅰ	・ネイリスト技能検定試験3級合格を目指す ・ネイルの専門的な知識と、ネイルケア、リペア、ネイルアート技術を学ぶ	1 通	120			○		○		○		
○			メイク実習Ⅱ	・基本のメイクアップをもとに、応用メイクと作品制作に伴うヘアアレンジを学ぶ	1 通	60			○		○			○	
○			ネイル実習Ⅱ	・ネイリスト技能検定2級合格を目指す ・ネイルに関する幅広い知識と技術を学ぶ	1 通	60			○		○		○		
○			着付実習	・山野流着装 初伝、中伝合格を目指す ・着物文化を学び日本女性の感性、所作、礼儀作法、そして社会で即戦力となる技術を身に付ける	1 通	60			○		○		○		
○			エステティック実習	・認定フェイシャルエステシアン、ボディエステシアン試験合格レベルを目指す ・エステティック技術の基本的な流れを目的効果手法について理解し、トリートメントを行う上での知識や技術を学ぶ	1 後	60			○		○			○	
○			ジェルネイル実習	・ジェルネイル技能検定試験初級合格を目指す ・ジェルネイルに関する基礎理論と技術を学ぶ	1 後	30			○		○		○		
○			アロマセラピー	・天然の香りの知識を身に付けアロマセラピー検定の内容を理解し、2級合格を目指す ・アロマセラピーを正しく安全に楽しむ知識を幅広く身に付ける	1 通	46			○		○			○	
○			パーソナルカラー	・パーソナルカラー検定モジュール1合格を目指す ・美容業界で活用できる色彩、パーソナルカラーの基礎知識を学習する	1 通	46			○		○			○	
○			皮膚科学	・認定フェイシャルエステシアンボディエステシアン試験合格レベルを目指す ・皮膚の働きと基本知識を理解する	1 通	46			○		○			○	
○			エステティック理論	・認定フェイシャルエステシアンボディエステシアン試験合格レベルを目指す ・エステティックの基礎的な知識を学びエステシアンとしての社会的な役割と使命感、心構えを学ぶ	1 前	16			○		○			○	

※次のページへ続く

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ビューティコーディネーター学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			化粧品学	・日本化粧品検定2、3級合格を目指す ・化粧品についての基礎知識を学習する	1 通	40		○			○		○		
○			サロンワーク 実習	・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより 技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を 学ぶ	1 後	30			○		○		○		
○			社会人基礎講 座	・社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学 び、企業が求める社会性とコミュニケーション能力を養 う	1 通	60		○			○		○		
○			実務実習	・美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して 実践する	1 後	40				○		○	○		○
合計				15科目				834単位時間(単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
・必修及び選択必修全科目の成績がC評価以上であること ・必修及び選択必修全科目の出席率が85%以上であること (留意事項)	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ビューティコーディネーター学科) 令和3年度生																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			メイク実習Ⅰ	・スキンケア、メイクアップ技術の応用を学ぶ ・作品制作のレベルアップを目指し、技術を養う ・化粧品の正しい知識と接客技術を学ぶ	2通	120			○		○		○			
○			ネイル実習Ⅰ	・ネイルに関する幅広い知識と技術を学ぶ ・様々な技法を使ったアート作品制作を通して豊かな感性を磨く ・サロンワークで通用するネイル技術と接客を学ぶ	2通	120			○		○			○		
○			メイク実習Ⅱ	・ヘアメイクの応用を学ぶ ・外部コンテストでの入賞を目指し、撮影用ヘアメイクを学ぶ	2通	120			○		○				○	
○			ネイル実習Ⅱ	・ネイリスト技能検定1級合格を目指す ・サロンワークで対応できるスカルプチュア技術を学ぶ	2通	120			○		○				○	
○			エステティック実習	・認定フェイシャルエステティシャン、ボディエステティシャン試験合格レベルを目指す ・エステティックの正しい知識と理論に裏付けされた基本的な技術の習得(フェイシャル、ボディ)	2前	60			○		○				○	
○			メイクセラピー	・メイクセラピー検定2級、3級合格を目指す ・メイクセラピーの概念を理解する	2通	80			○		○			○		
○			ジェルネイル実習	・ジェルネイル技能検定試験上級、中級合格を目指す ・サロンワークで活用できるジェルネイル技術を学ぶ	2通	70			○		○			○		
○			パーソナルカラー	・パーソナルカラー検定モジュール2合格を目指す ・美容業界で活用できる色彩、パーソナルカラーの基礎知識を学習する	2通	44			○		○				○	
○			化粧品学	・日本化粧品検定1級合格を目指す ・化粧品についての基本知識を学習する	2通	40			○		○			○		
○			サロンワーク実習	・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ	2通	60			○		○			○		
○			実務実習	・美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践する	2前	40					○		○	○		○

※次のページへ続く

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ビューティコーディネーター学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
合計				11科目				874単位時間()						(単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
・必修及び選択必修全科目の成績がC評価以上であること ・必修及び選択必修全科目の出席率が85%以上であること (留意事項)	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
専門学校 穴吹ビューティカレッジ	平成14年3月14日	後藤 良二	〒760-0020 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-5500																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹 忠嗣	〒760-0020 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
文化・教養	文化教養専門課程	トータルエステティック学科	平成16年文部科学省告示第3号	—																							
学科の目的	美容の知識や技術を専門的に習得し、レベルの高いスキルを持ったエステティシャンを目指し、在学中に日本エステティック協会 認定上級エステティシャン試験の合格を目指し、メイク、ネイルなど、トータルケアのできる国際レベルのエステティシャンを育成する。																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1716時間	712時間	992時間	12時間	時間	0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
30人	19人	0人	1人	5人	6人																						
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 シラバスによる																							
長期休み	■学年始: 学則に従う ■夏季: // ■冬季: // ■学年末: //		卒業・進級条件	履修科目の成績がC以上であること 成績はA～Dの4段階評価でA,B,Cが合格、Dが不合格																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 必要に応じ、学生とガイダンス及び補講等を実施する		課外活動	■課外活動の種類 近隣清掃等のボランティア活動 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) エステサロン 美容業界 ■就職指導内容 学生との個人面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う ■卒業生数 3 人 ■就職希望者数 3 人 ■就職者数 3 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定上級エステティシャン</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	認定上級エステティシャン	③	3人	3人												
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
認定上級エステティシャン	③	3人	3人																								
中途退学の現状	■中途退学者 1名 令和2年4月1日時点において、在学者13名(令和元年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者12名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 精神疾患のため登校が不可能となった ■中退防止・中退者支援のための取組 問題発見のためのアンケート実施と学生本人・保護者を交えたがんだンス実施		■中退率 6.7 %																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 穴吹カレッジ特待生制度、AO入学 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	URL・http://www.anabuki-college.net/auk/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

エステティシャンとして働けるように「エステ」に関する基礎知識から実践的な技術を身につけた人材を養成するのが学科の特色です。また、お客様に対する接客等の現場対応力を身につけるためのカリキュラムを実施します。
さらに、学内で学んだ後に学生の就職希望に応じた施設で実習を行う。実習の体験を通して学生は学内における自らの学びを確認し評価するとともに、実習で得た課題を実習後の学びに繋げていく。また、現場で働くエステティシャンの姿を通して職業人としての自らの将来像を具体化させるとともに、変化する社会に対応して自ら学び続ける姿勢を養う職業教育の機会とする

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカーラー協会 理事	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
高畑 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社H&M BEAUTY 執行役員	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 魏町リバーズ 副院長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
石川 勲	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和3年8月1日～令和4年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年10月21日

第2回 令和4年3月(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

既存の授業でリフレクソロジーがあるが、フットケアまでできる内容にしてはどうかと指摘があったので、次年度カリキュラムで検討。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内で身に付けた知識、技術が美容サロン等と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする。実務実習(インターンシップ)を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、サロン担当者に評価をお願いする。実習終了時にはサロン担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等

実務実習	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する。	寿海株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 教員は教職員研修規程に従い、エステ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけではなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

日本エステティック協会Webセミナー「女性ホルモンの変化と更年期のエステティックケア」
 ・日時 令和3年10月26日(火)
 ・講師 日暮 香奈子/鍼灸師、Accord・ACE(株)代表取締役、アキュボーテ東京院長

日本エステティック協会Webセミナー「お客様・スタッフとのコミュニケーションアップを図るために」
 ～さまざまな発達障害・発達特性を学ぶ～
 ・日時 令和3年11月9日(火)
 ・講師 肥後 祥治/鹿児島大学 法文教育学域教育学系 障害児教育学科教授、博士

② 指導力の修得・向上のための研修等

「主体的・対話的で深い学び」を実現する Google 式10X授業デザイン研修
 ・日時: 令和3年8月19日(木)
 ・内容: Google Classroom を使用した模擬授業・体験型のオンラインセミナー
 ・講師: Google 認定トレーナー/イーサーエル株式会社代表取締役 平塚知真子

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

フットケアに関する研修を実施予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

「主体的・対話的で深い学び」を実現する Google 式10X授業デザイン研修
 ・日時: 令和3年8月19日(木)
 ・内容: Google Classroom を使用した模擬授業・体験型のオンラインセミナー
 ・講師: Google 認定トレーナー/イーサーエル株式会社代表取締役 平塚知真子

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等

(2) 学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができていないか、等
(4) 学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5) 学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6) 教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7) 学生への受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱い
(8) 財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9) 法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができていないか、
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	業界団体委員
河端 公美子	河端着付教室	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
高畑 育代	有限会社カールズジャパン	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
小野 和則	株式会社H&M BEAUTY	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
中村 博子	株式会社 麴町リパース	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	元高校関係委員
北野 奈美恵		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	保護者代表委員
矢野 理菜		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	卒業生代表委員
佐立 明	香川県立津田高等学校	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員
西本 泰三	英明高等学校	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/auk/>

公表時期: 令和3年11月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2) 各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3) 教職員	教職員の概要、等
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6) 学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8) 学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9) 学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/auk/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 トータルエステティック学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			フェイシャル スキンケア	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エ ステティシャン資格取得を目指す ・フェイシャルエステの正しい知識と理論に裏付け された基本的な技術の習得	1 通	122		○			○	○			
○			ダイエットボ ディ	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エ ステティシャン資格取得を目指す ・ボディエステの正しい知識と理論に裏付けされた 基本的な技術の習得	1 通	96		○			○	○			
○			脱毛	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格レ ベルを目指す ・ワックス脱毛の毛髪理論と技術を学び、具体的 なアドバイスができる幅広い知識を習得する	1 後	10		○			○	○			
○			アロマテラ ピー	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エ ステティシャン資格取得を目指す ・アロマテラピー検定2級合格を目指す ・天然の香りの知識を身につけアロマテラピー検 定の内容を理解する	1 通	46		○			○		○		
○			カウンセリ ング	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エ ステティシャン資格取得を目指す ・心理的カウンセリングとコンサルティングができ る知識を習得し、カウンセラーとしての心構えを 身につける	1 通	40		○			○	○			
○			運動・トレ ーニング	・ヨガの「呼吸法」と「正姿勢」を学習 ・エクササイズ的要素を含め、日常生活において心 身のバランスを整える健康法を習得	1 後	20		○			○		○		
○			ネイル実習	・ネイリスト技能検定試験3級合格を目指す ・ネイルの専門的知識と、ネイルケア、リペア、 ネイルアート技術を学ぶ	1 通	80		○			○	○			
○			ジェルネイル 実習	・ジェルネイル技能検定試験初級合格を目指す ・ジェルネイルに関する基礎理論と技術を学ぶ	1 後	30		○			○	○			
○			メイク実習	・ケサランパサランメイクアップ検定合格を 目指す ・スキンケア、メイクの基本知識と技術の習得	1 通	60		○			○	○			
○			皮膚科学	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エ ステティシャン資格取得を目指す ・皮膚の働きと基礎知識を理解する	1 前	40		○			○	○			
○			大脳解剖生理 学	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エ ステティシャン資格取得を目指す ・生命活動の基本原理解について学ぶ・生命活動と ホメオスタシスについて理解する	1 通	62		○			○		○		

※次のページへ続く

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 トータルエステティック学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			運動生理学	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・運動に関する生理学を理解し適切な運動知識を身につける	1後	20		○			○			○	
○			化粧品学	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・日本化粧品検定3級合格を目指す ・化粧品についての基礎知識を学習する	1後	20		○			○		○		
○			栄養学	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・栄養と健康、美容に関する基本知識を身につける	1通	40		○			○			○	
○			エステティック理論	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・エステティックに関する基礎的な知識(概論・関連法規・救急法)を学ぶ	1前	44		○			○			○	
○			サロン経営学	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・サロンの開店、経営方針について学び、サロン経営の目標意識を育てる	1後	14		○			○				○
○			接客マナー	・接客に必要な知識を高め、笑顔・挨拶・お辞儀・振る舞いなどを身につける	1後	18			○		○		○		
○			美容技術理論	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・技術の流れを理解し全身トリートメントの知識とポイントを学ぶ ・ワックス脱毛の基本的な毛髪理論を学ぶ	1前	36		○			○			○	
○			サロンワーク実習	・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ	1後	20			○		○			○	
○			社会人基礎講座	・サービス接客検定3級合格を目指す ・社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学び、企業が求める社会性とコミュニケーション能力を養う	1前	30		○			○			○	
○			実務実習	・美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する	1後	12				○	○		○		○
合計			21 科目			860 単位時間(単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
・必修及び選択必修全科目の成績がC評価以上であること	1学年の学期区分	2期
・必修及び選択必修全科目の出席率が85%以上であること	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 トータルエステティック学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			フェイシャルスキンケア	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・正しい知識と理論に裏付けられた応用技術の習得 ・コンサルテーションの組立てと説明ができる力を養う ・メイクセラピー検定3級合格を目指す	2 通	130		○			○				
○			フェイシャルセラピー	・フェイシャルトリートメントの幅を広げ多様な施術ができる力を養う ・目的に対し結果につながる技術の方法論を学習する	2 通	84		○			○				
○			ダイエットボディ	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・正しい知識と理論に裏付けられた応用技術の習得 ・オリジナルマッサージを組立て、お客様の要望に合わせて施術ができる力を養う	2 通	100		○			○				
○			リラクゼーションボディ	・ボディトリートメントの幅を広げ多様な施術ができる力を養う ・目的に対し結果につながる技術の方法論を学習する	2 通	84		○			○				
○			脱毛	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・脱毛に関する毛髪理論と技術を学び具体的なアドバイスができる幅広い知識を習得	2 後	20		○			○				
○			フィットセラピー	・メディカルハーブ検定合格レベルを目指す ・植物療法を用いて施術ができる力を養う ・正しい知識でハーブや精油を扱う力を身につける	2 前	30		○			○				
○			アロマセラピー	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・アロマセラピー検定1級、アドバイザー合格を目指す	2 後	20		○			○				
○			リフレクソロジー	・セラピストとしての心構えを学習する ・ホリスティックセラピーとしてのリフレクソロジーができる力を養う	2 後	30		○			○				
○			東洋美容	・東洋医学を学び東洋式マッサージを理解する ・各国のエステティック技術を学ぶ	2 後	20		○			○				
○			カウンセリング	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・顧客心理を理解しコンサルテーションシート作成ができる知識を習得	2 前	20		○			○				
○			運動・トレーニング	・ヨガの「呼吸法」と「正姿勢」を学習 ・エクササイズ的要素を含め、日常生活において心身のバランスを整える健康法を習得	2 前	20		○			○				

※次のページへ続く

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 トータルエステティック学科) 令和3年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ジェルネイル 実習	・JNAジェルネイル技能検定中級合格を目指す	2 前	30		○			○		○		
○			皮膚科学	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・皮膚の働きとしくみを理解しコンサルテーションシートが作成できる知識を習得	2 前	42		○			○		○		
○			大脳解剖生理 学	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・人体の構造と働きを理解しコンサルテーションシートが作成できる知識を習得	2 前	38		○			○			○	
○			化粧品学	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・日本化粧品検定1、2級合格を目指す ・化粧品に関する知識を深めコンサルテーションシートが作成できる知識を習得	2 通	40		○			○		○		
○			エステティク 理論	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・エステティクの全体像(概論・関連法規・救急法・機器学・衛生管理)を理解しエステティシャンとしての社会的な役割と使命感、心構えを学ぶ	2 前	20		○			○			○	
○			接客マナー	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・接客に対する知識を深め実践的な応用力を身につけコミュニケーション能力を高める	2 後	16		○			○		○		
○			美容技術理論	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・お客様の状態や目的に合わせてトリートメントができる知識を深めコンサルテーションシートが作成できる知識を習得	2 後	46		○			○		○		
○			サロンワーク 実習	・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ	2 通	60		○			○		○		
合計					19	科目	850			単位時間(単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
・必修及び選択必修全科目の成績がC評価以上であること ・必修及び選択必修全科目の出席率が85%以上であること (留意事項)	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。